



# 関ロータークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail [seki-rc@abelia.ocn.ne.jp](mailto:seki-rc@abelia.ocn.ne.jp)  
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 藤井 淳 ■副会長 古田貴巳 ■幹事 三輪雄彦



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ  
「世界へのプレゼントになろう ( Be a gift to the world )」  
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

2015~16 年度 関ロータークラブテーマ  
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第 50 代会長 藤井 淳

第 2416 号

平成 28 年 5 月 14 日 (土)

## 前例会の記録 第 2415 回 5 月 10 日(火)12:30

「知らないと損をする経費の世界  
～固定費削減の具体的手法について～」  
株式会社 TRYLink 事業部長 中谷基之様

- ◆開会点鐘
- ◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱
- ◆会長挨拶 藤井淳



先週末 7 日に岐阜グランドホテルにて行われました会員増強研修セミナーに出席してきましたので、簡単にご報告と所感を述べさせていただきます。私は午前診療後に出席しましたので、午後 1 時からの RI2710 地区パストガバナーの西村栄時さん (山口県・

岩国市) の特別講演を拝聴しました。「真の会員増・強を！」という題名でした。我が国のロータリー会員数はようやく歯止めがかかったとはいえ、一時 13 万人を超えていたのが、2015 年 12 月現在で約 9 万人まで減少し、往年の輝きはありません。会員減少の原因は景気低迷など色々な問題もありますが、もっとも重大な理由は「会員のロータリーへの理解と愛情不足」である、と仰いました。入会 3 年未満の退会者が多いのは、ロータリーの良さを体得しないまま、悪い印象を持って退会していることが多く、周囲に与えるマイナスの影響は計り知れません。こうならないためにも、ロータリーの精神を知る真のロータリアンをより多く育てるのが重要であります。ロータリーとは、111 年の歴史を有し、職業倫理を大切にしている組織である。また地域・国際社会で奉仕したり、日本最大の奨学金制度を有する組織である、等の事実を (新入) 会員にしっかり伝えることが、大切です。人生を歩む上で一番大切なことは「恕(じょ)」、思いやりの精神であり、自分のやって欲しいことを相手にやってあげることです。これはロータリーの唱える「職業奉仕の精神」でもあります。相手の立場で物を考え、相手に役立つ

行動をし、謙虚で思いやりある行為をするということ。この積み重ねが地域の人から信頼を勝ち取り、あんな素晴らしい人のいる組織に入りたいと思ってもらえるのが、理想とする会員増強であります。ロータリーには不易流行と云って変えてはならないものがあります。そのひとつが今お話した「職業奉仕の精神」であり、さらに「超我の奉仕」であります。超我の奉仕とは、人は誰でも一人では生きていけない。多くの人や物によって支えられ、生かされている。であれば、私たちが支え、生かしてくれる人、物、自然を生かすことが、私たちが生かす道である。自分のため他人のためとかでない、執着・見返り・打算のない奉仕、これが「超我の奉仕」であり、ロータリーの存在意義であります。ロータリーの例会は、ロータリアンの心を癒す、潤いと安らぎの空間・オアシスでなければいけない。また奉仕活動は、安易な金品の寄付ではなく、地域を巻き込み感動のある奉仕をしましょう。ロータリアンは周囲の人に、喜び・楽しみ・感動を与えるマジシャンでありたいと考えます。というようなご講演を拝聴してきました、大変分かりやすくロータリアンの理念を改めて理解できました。剣田ガバナーエレクトが、西村さんをわざわざ山口県からお呼びした理由が分かりました。自分自身も「超我の奉仕」を行いたいと思いました。さて先程は、「奉仕活動は、安易な金品の寄付ではなく」とお話しましたが、それは関市での奉仕活動の場合はそのように考えますが、今回の熊本・大分を中心とした地震の被災地への寄付は別だと考えます。本日の理事役員会でご承認頂ければ、会員の皆様には被災地へのご寄付をお願いいたしますので、「超我の奉仕」のひとつとご理解頂き、ご協力をお願い致します。勿論、現三役からは、3 万円ほど寄付させていただきますし、寄付とは別に、7 月以降に現三役で熊本か大分を訪問して、お金を落とす計画も立てております。個人的には、これ以外にもふるさと納税を熊本や大分にして、お礼を辞退す

る形で、寄付をすることが出来ますので、そうしたいと考えております。会員の皆様にもご賛同頂けたら、大変嬉しく思います。

◆春の叙勲 瑞宝双光章受賞の早川力さん



◆委員会報告

◎出席委員会 委員 岩倉宏幸

会員 46 名中 出席 27 名 出席率 61.37%

◎ニコボックス委員会 委員加藤浩二

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日のお客様、中谷様、実は中谷様が主催する経営塾に昨年まで通っておりました。関市でまた、ご縁があり大変うれしく思います。本日の卓話、楽しみにしていました。よろしくお願い致します。

加藤(浩)、後藤、臼田、塚田の皆さん・・・株式会社 TRYLink 事業部長 中谷基之様「知らないと損をする経費の世界」大変興味のあるお話をいただきありがとうございます。上手に経費を使えるよう、しっかりとお話を聞きたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願い致します。

早川力さん・・・永年学校医として、春の叙勲、瑞宝双光章を受章しました。(10ポイント)

山村、林(隆)、堀部、杉浦、長尾、酒井、山谷、加藤(浩)、清水(善)、池村、大澤、林(昇)の皆さん・・・春の叙勲で早川先生が瑞宝双光章を受章されました。長年のご苦勞が認められ本当におめでとうでございます。82歳の誕生日とともにお祝い申し上げます。

早川力さん・・・バースデーカードをありがとうございました。

長尾一郎さん・・・誕生日にポストカードをありがとうございました。

岩倉宏幸さん・・・妻の誕生日にバースデーカードをありがとうございました。

◆「知らないと損をする経費の世界

～固定費削減の具体的手法について～

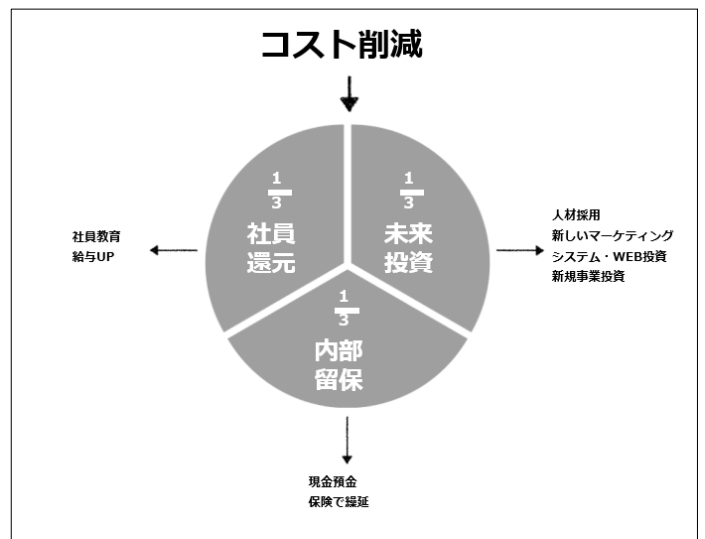
株式会社 TRYLink 事業部長 中谷基之様

不況の中、多くの企業様で苦しみ声を耳にしたことにあります。もともと仲の良かったお客様が倒産されるという辛い場面にも出会いました。選択肢がなく、家族のように愛していた社員を泣く泣くリストラしなくては行けない。そんな決断の場も見て来ました。皆、思います。「何故？ こんな事になってしまったのだろうか？」そうした会社を幾つも見ているうちに極限まで追い込まれる企業様には1つの特徴がある事



に気がつきました。それは、「我が社は順調で倒産とは無縁」との感覚を抱いていた事です。嫌な話ですが徹底的に追い込まれるのは多く場合、好調の直後。まさに一寸先は闇と言えるタイミングでピンチは訪れるのです。反対に「我が社はあぶない」と危機感を抱く企業様は堅実です。

周囲に危ないと言われながらも、しぶとく、力強く生き残って行くものです。経営が順調な時こそ、締めるところは締める。しかし、実際にコストを削減することは容易ではありません。さまざまな「しがらみ」が立ちまわります。多くのコストは「必要だから使っていた」ものであって、存在するには、それなりの理由があります。しかし、私たちは思います。「社員の雇用や給与の確保以上に大切なしがらみなどない」そうです。かつて経験したように、私たちの大切なお客様の会社で、倒産やリストラといった辛い結果が訪れないよう。まだまだ未熟ではありますがコツコツと情報提供をさせていただいております。だから私たちは断じて人件費削減の話はいたしません。何人もの方にご指摘を頂きました。「最大の経費である人件費削減を扱わないのは弱点だ」たとえ弱点だとしても構いません。目的とすることは、むしろ全く逆です。1円でも多くコストを削減し、「社員」「顧客」「未来」に投資していただきたいのです。



◆幹事報告

◎例会終了後「理事、役員会」開催

次例会のご案内 5月18日(水)  
「これからの関市について  
～ひとのつながりと情熱～」  
関市市議会議員 田中巧様  
担当：親睦活動委員会

\*\*\*\*\*  
例 会：毎週火曜日 12:30 (第3週は水曜日に 18:30)  
例会場：岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店2F  
事務局：岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリア 2F